

# 04 勉強会・ワークショップについて

## ○ Well-Being Business Design Workshop in kamakura (全3回)

### 目的・概要

鎌倉市や近隣自治体のLWCI（暮らしやすさと幸福度の指標）のデータをもとに、市民の暮らしやまちの課題を考え、人とまちのWell-Beingを高める新たなビジネスモデルの創出を目指します。

● 令和5年（2023年）10月4日（水）14時30分～17時00分  
@株式会社カヤックぼくらの会議棟 参加人数：25名

- 「ウェルビーイング」の基礎概念と地域幸福度指標インプット
- 地域幸福度指標ダッシュボードの操作、対象都市の特徴把握
- 対象都市のSWOT分析、ウェルビーイング因子を4分類
- 都市間の共通点・相違点の認識と、湘南ビジネス圏の市場特性の把握

10/4

1/26

● 令和6年（2024年）1月26日（金）13時30分～17時00分  
@江ノ島電鉄株式会社 参加対象：前回参加者+5名程度

- 「ウェルビーイング」の基礎概念と地域幸福度指標のインプット
- 幸福度と生活満足度に関係の深いウェルビーイング因子の特定
- ビジネス対象とすべき、ウェルビーイング因子の特定
- ビジネスを行う地理的スコープと顧客セグメントの決定
- チームの再編成（単独orパートナーの特定）

3/15

● 令和6年（2024年）3月15日（金）13時30分～17時00分  
開催場所：調整中

- まとめ・成果発表  
※詳細は調整中

# 04 勉強会・ワークショップについて

## ○ Well-Being Business Design Workshop in kamakura / 第1回アンケートサマリー

Q. 本日の全体会の内容をご理解いただけましたか？

	割合
1. 大変よく理解できた	52.9%
2. 理解できた	47.1%
3. どちらともいえない	0.0%
4. あまり理解できなかった	0.0%
5. まったく理解できなかった	0.0%
合計	100.0%

Q. LWC指標を活用したビジネス創出の可能性についてどのように感じましたか？

	割合
1. 可能性を感じた	70.6%
2. まだわからない	29.4%
3. 可能性を感じなかった	0.0%
合計	100.0%

### アンケート自由記載欄抜粋

○新規事業を考える際は「**不（不便・不利・不思議）**」を解消するビジネスがセオリーだが、湘南や鎌倉地域では他のエリアよりも、比較的幸福度が高いことから、「不」に焦点を充てるのではなく、**今後は、「不」と「幸」の両方から、新たな新規事業に取り組んでいきたい。**

○今現状、顧客インサイトを「知る」状態なので具体的なビジネスモデルはわかりかねますが、プレミアム型のいわゆるゲインポイントよりは課題起点となる**ペインポイントを把握して課題解決型のビジネス**に取り組みたい。

○**主観客観指標にギャップのある分野**は、ビジネスチャンスがある可能性があり、注目してみたい。

○鎌倉-湘南エリアの各街の特徴について数時間でかなり解像度を上げることができた。街の実態が、**客観的な指標でも主観的な指標でも見られる機会**は中々無い**ため**、貴重な機会となった。

○LWC指標の導入やデータ量が早く増えていかないと、実像と乖離が生じていると感じる。特に鎌倉市。**関連付けてデータに基づく新規ビジネスを考えるにあたり、より精度の高いデータにしていくことが重要**で、現在はビジネスの起案速度のほうが早く、データ収集速度が遅いと感じている。（データ速度が速いとビジネス創出の裏付けができ、助かる）

